

3月12日(火) 13:00～18:40

名古屋大学(東山キャンパス) 理学南館 坂田・平田ホール

第21回植物オルガネラワークショップ  
オルガネラと膜系の進化

世話人(50音順): 小保方潤一(京都府立大学), 加藤裕介(岡山大学), 河野重行(東京大学), 楠見健介(九州大学), 小林裕和(静岡県立大学), 西村芳樹(京都大学), 林田信明(信州大学), 松尾拓哉(名古屋大学), 宮沢豊(山形大学)

13:00 開会 世話人挨拶

セッション1 (13:05～15:25)

13:05 葉緑体蛋白質輸送の分子機構—新たなる展開  
中井正人(大阪大学)

13:40 チラコイド膜脂質合成の人工的制御が解き明かす植物の色素体分化機構  
藤井 祥(東京大学)

14:15 孔辺細胞葉緑体の特異な機能と脂質代謝バランス  
柘宜淳太郎(九州大学)

14:50 脂質輸送におけるオルガネラ間コンタクトサイトの役割  
田村 康(山形大学)

15:25 休憩

セッション2 (15:35～17:20)

15:35 植物オルガネラの概日制御  
松尾拓哉(名古屋大学)

16:10 光合成電子伝達系「超」複合体構造の獲得過程:  
被子植物は二種類の複合体(PSI・NDH)をどのように連結させたのか  
加藤義宣, 鹿内利治(京都大学)

16:45 現在進行形の共生現象から葉緑体の起源を考える  
丸山真一郎(東北大学)

17:20 休憩

特別講演

17:30 二重膜オルガネラの起源をめぐる45/135年の歴史  
佐藤直樹(東京大学)

18:30 総合討論

18:40 閉会

19:00 ミキサー  
レストラン花の木(東山キャンパス内)

参加は無料です。また、ワークショップ後にはミキサーを予定しています。ワークショップおよびミキサーへの参加希望者は3月4日(月)までに次のホームページよりお申し込みください。当日参加も歓迎しますが、要旨集の準備の都合がありますので、ワークショップのみに参加される方も申し込みを頂けると幸いです。

<http://dfns.u-shizuoka-ken.ac.jp/labs/pctech/workshop>

連絡先: 松尾拓哉(名古屋大学) [t-matsuo@gene.nagoya-u.ac.jp](mailto:t-matsuo@gene.nagoya-u.ac.jp)  
楠見健介(九州大学) [kusumi.k.239@m.kyushu-u.ac.jp](mailto:kusumi.k.239@m.kyushu-u.ac.jp)

3月12日(火) 13:30～17:00 C会場

第4回光合成細菌ワークショップ

世話人：浅井智広（立命館大学）、塚谷祐介（海洋研究開発機構）、原田二郎（久留米大学）

13:00	受付
13:30	開会・世話人代表挨拶（原田二郎）
13:35	「CO <sub>2</sub> 固定酵素 RuBisCO の多様な機能進化」 蘆田弘樹（神戸大学大学院・人間発達環境学研究科）
14:05	「光合成細菌 <i>Rhodobacter capsulatus</i> おける光合成遺伝子発現制御因子 AerR/CrtJ 制御機構の新展開」 山本治樹 <sup>1,2</sup> （ <sup>1</sup> インディアナ大学, <sup>2</sup> 名古屋大学）
14:30	「シアノバクテリア概日時計の入出力機構と細胞内レドックス」 田中謙也（大阪大学大学院・基礎工学研究科）
14:50	休憩
15:05	「紅色細菌光合成光捕集及び光保護におけるカロテノイドの役割」 小澄大輔 <sup>1</sup> , Richard J. Cogdell <sup>2</sup> , 橋本秀樹 <sup>3</sup> （ <sup>1</sup> 熊本大学・パルスパワー科学研究所, <sup>2</sup> グラスゴー大学, <sup>3</sup> 関西学院大学・理工学部）
15:35	「好気性光合成細菌のカロテノイド～その進化と役割」 高部由季 <sup>1</sup> , 原田二郎 <sup>2</sup> , 嶋田敬三 <sup>1</sup> , 花田智 <sup>1</sup> , 高市真一 <sup>3</sup> （ <sup>1</sup> 首都大学東京, <sup>2</sup> 久留米大学, <sup>3</sup> 東京農業大学）
15:55	「紅色光合成細菌の光捕集タンパク質の色素改変」 佐賀佳央（近畿大学）
16:25	「光捕集-反応中心複合体 LH1-RC の脂質による電荷分離状態の安定化と光電流活性」 野地智康（東京大学）
16:50	総合討論
19:00	意見交換会・交流会 名古屋的和風DININGまかまか（栄駅, 伏見駅, 矢場町駅 徒歩約7分） 愛知県名古屋市中区栄3-11-13 GKビル 2F, TEL: 050-5869-5770



3月13日(水) 19:00～20:30  
会場：農学部講義棟1階 第5講義室

### 第2回数理モデル勉強会

世話人：藤田浩徳（基礎生物学研究所）  
杉山宗隆（東京大学）

開催概要：本勉強会は、植物科学において数理モデルに関心のある研究者や学生が、ウェットかドライか、初心者か経験者かに関係なく一同に集い、情報交換および親睦を深めることを目的としています。また本勉強会を通して、この研究分野でのコミュニティー構築を目指しており、今後学会の関連集会として継続的に開催する予定です。第2回の今回は、実験と数理の共同研究を行なわれている3人の方に、研究内容や共同研究にまつわる話題を、気軽な感じでお話ししていただく予定です。参加申し込みは不要ですので、興味のある方はお気軽にご参加下さい。なお、夕食のお弁当をご希望の方は、事前に（3月11日までに）世話人までご連絡下さい。

19:00	世話人挨拶
19:05	実験・数理の共同研究で探る細胞壁パターンの形成機構 小田祥久（遺伝研・新分野）
19:30	植物生理データから数理モデルを立ち上げる方法：実験と理論の融合研究に向けて 津川暁（理化学研究所）
19:55	数理と実験を組み合わせた研究をしてきて気づいたこと—数理研究者からの視点 藤原基洋（大阪大学理学研究科）
20:20	総合討論

参加申し込みは不要ですので、興味のある方はお気軽にご参加下さい。

連絡先：藤田浩徳（基礎生物学研究所） [hfujita@nibb.ac.jp](mailto:hfujita@nibb.ac.jp)  
杉山宗隆（東京大学） [sugiyama@ns.bg.s.u-tokyo.ac.jp](mailto:sugiyama@ns.bg.s.u-tokyo.ac.jp)

3月13日(水) 19:15～20:45

会場：名古屋大学(東山キャンパス) ITbM棟(1F)レクチャールーム

## 第37回植物生理若手の会講演会

幹事：天野瑠美(京都産業大学)

登 達也(Max-Planck Institute for Plant Breeding Research)

19:15

幹事挨拶

19:20

種苗業界とその研究—共同研究事例も含めて—  
加野彰人(タキイ種苗株式会社 研究農場)

19:50

プロテオミクスと Mass Spec とワークライフバランスと。  
桑田啓子(名古屋大学 ITbM)

20:20

総合討論

本会は、若手研究者や学生を対象に、研究内容やキャリア形成について議論できる場を提供することを目的としています。今回の講演会では、タキイ種苗株式会社にて対病虫性品種の作出に携わっておられる加野彰人博士と、名古屋大学 ITbM 分子構造センターのセンターチーフとして質量分析の分野でご活躍されている桑田啓子博士にご登壇いただきます。特に、海外を含めた企業での研究や、アカデミアにおけるワークライフバランスに関して話題を提供頂き、参加者間で活発な議論が行われることを期待しています。

講演会には当日参加も可能ですので、お気軽にご参加ください。

年会本会場から ITbM 棟までは多少距離がありますので、ご注意ください。

(キャンパスマップ：<http://www.nagoya-u.ac.jp/access-map/> D2①の建物です)

ご希望の方にはお弁当とお茶を注文いたします。また、講演会後には参加者同士の交流を深めるための懇親会を行います。参加申し込みフォームからお申し込みください。

申し込み締切：3月6日(水)

参加申し込みフォーム：<https://goo.gl/forms/8JMT4ryI9NMunJiE2>

植物生理若手の会ホームページ：<http://www.cc.kyoto-su.ac.jp/~i1659019/wakatenokai.html>

※講演会の詳しい内容についてはこちらのホームページで随時更新します

連絡先：天野瑠美：i1659019@cc.kyoto-su.ac.jp

登 達也：nobori@mpipz.mpg.de